

グローバルイシューを考える

—国際結婚における偽装結婚の問題点と対処—

呉 佩珍(ゴ ハイチン)

神戸女子大学大学院 文学研究科 日本語日本文学専攻(中国)

1. はじめに

グローバル化の進展に伴って、人々が国境を越えて外国人の結婚相手を探すのはよく見られる。日本では2015年に結婚したカップルは635,156組で、そのうち国際結婚(夫妻の一方が外国人)は20,976組となっている^①。国際結婚というと、多くの人には華やかなイメージを思い浮かべる。確かに愛のために困難を乗り越え、エキゾチックなロマンスを楽しむ人が少なくない。日本の誇る医師である野口英世とメリー・ダージスはその例の一つである。しかしながら、愛ではなく、不正目的を達成するため外国人と偽装結婚するケースが多い。「偽装結婚の摘発は平成23年の554人をピークに減少傾向にあり、26年は371人だったが、昨年(平成27年)は上半期で183人と前年(平成26年)同期(165人)を上回った」^②。これは美しい国際ロマンスに影を落とした。偽装結婚は個人的な問題ではなく、深刻でグローバルな課題になる。

本稿では、日本を例として、まず国際結婚における偽装結婚の目的を挙げ、次に偽装結婚による社会問題を分析し、最後に偽装結婚への対処法を考察してみたい。

^① 佐竹真明、金愛慶、国際結婚と多文化共生——多文化家族の支援にむけて、2017年、25頁。

^② なぜ中国人との偽装結婚に手を染めたのか 困窮日本人夫婦が得たものとは…、
<https://www.sankeibiz.jp/compliance/news/160207/cpb1602071702001-n4.htm>

2. 国際結婚における偽装結婚の目的

国際結婚における偽装結婚とは何だろうか。「国際結婚とは、2 国間の市民(国民)の一方が異なる法体系(家族法や婚姻法)のもとで取り結ぶ関係である」^①。「偽装結婚とは夫婦として共同生活をしている実態がないが、配偶者がいることの利点を享受するために結婚することである」^②。その二つの定義に基づいて、国際結婚における偽装結婚とは、2 国間の市民(国民)が配偶者のいることの利点を享受するために一方の法体系のもとで婚姻関係を結ぶが、夫婦として共同生活をしている実態のない結婚であると試案する。このような婚姻関係では違法性はもとより、個人に及ぼすリスクも大きい。なぜ、多くの人々が危険を冒して偽装結婚をしているのか。偽装結婚の当事者が追求するメリットはそれぞれ異なる。以下では、外国人と日本人に分けて偽装結婚の目的を述べる。

2.1 外国人の場合

偽装結婚のケースでは、ビザのために日本人と結婚届を提出する外国人が多い。朝日新聞(2019年6月25日)の記事によると、スリランカ人のA容疑者^③(女性、26)と日本人のB容疑者(男性、34)は2018年12月25日に福島県白河市役所に虚偽の婚姻届を出したので、2019年6月24日に逮捕されたという。偽装結婚の目的を聞かれた時、A容疑者は「在留資格が欲しかった」と容疑を認めた^④。どんな在留資格が欲しかったかは記事に掲載されていないが、外国人にとって日本に滞在するためには在留資格が必要である。30種類ぐらいの在留資格のうちに、資格によって滞在期間と滞在活動が異なる。日本人の配偶者になる場合、結婚して

① 浜野健、日本人女性の国際結婚と海外移住——多文化社会オーストラリアの変容する日系コミュニティ、2014年、24頁。

② 実用日本語表現辞典、<https://www.weblio.jp/content/偽装結婚>

③ 個人情報保護のため、容疑者の名前をA、Bと記号化する。

④ 偽装結婚の疑いでスリランカ人男女ら逮捕 / 福島県、
<http://database.asahi.com/library2/main/top.php>

3年経過すると、日本の永住者になれる。そうすると、日本での滞在期間にも滞在活動にも制限がない。したがって、日本で自由に生活したり、仕事したりする資格を取りたい外国人にとって、日本人と結婚するのが早道である。

2.2 日本人の場合

結婚というのは二人の合意でなされることである。外国人は片方で偽装結婚を決められない。結婚相手とする日本人は主に何のために外国人との偽装結婚に手を染めるのか。それはお金だと思う。

上記の記事では、A 容疑者が「在留資格が欲しかった」という目的を持っている一方、B 容疑者は「(虚偽の届け出をする見返りに)数十万円もらった」と供述している^①。お金をもらうため、独身の日本人だけではなく、既婚の日本人でも結婚相手と離婚してまで、外国人と再婚することがある。産経新聞によれば(2016年2月6日)、2016年1月14日に逮捕された日本人夫婦は、厳しい家計に悩んでいた時ブローカーから28万円の生活費をもらうため2011年に離婚届を提出し、夫(31)は2011年に中国人の女性(36)と、妻(35)は2014年に中国人の男性(27)と偽装結婚した^②。わずか28万円のためにこの夫婦は婚姻関係の神聖性を無視し、愛する伴侶との法的な婚姻関係を犠牲した。

このように、ブローカーは「在留資格が欲しい外国人+お金が欲しい日本人」という相互需要のパターンを見つけ出し、外国人の依頼者から高い仲介料を受け取り、言葉巧みにお金に悩んでいる日本人を偽装結婚の道に誘うのだ。

3. 偽装結婚による社会問題

^① 偽装結婚の疑いでスリランカ人男女ら逮捕 / 福島県、
<http://database.asahi.com/library2/main/top.php>

^② なぜ中国人との偽装結婚に手を染めたのか 困窮日本人夫婦が得たものとは…、
<https://www.sankeibiz.jp/compliance/news/160207/cpb1602071702001-n1.htm>

偽装結婚が犯罪として扱われる原因は様々な深刻な社会問題をもたらすことである。以下では経済、政策、文化から偽装結婚による社会問題を分析しようと思う。

3.1 国際金融市場に混乱を及ぼす

国際結婚における偽装結婚の裏で巨大な利益を生み出されている。外国人側は結婚相手の日本人とブローカーに数十万円か数百万円を支払う。特に、ブローカーはこの利益のチェーンの最大勝者である。甲南大学法科大学院園田寿教授によると、「経済的な弱者を食い物にするブローカーや反社会勢力の存在にこそ偽装結婚の犯罪的問題が存在する」^①。偽装結婚によって稼ぐ大金を用いて不正送金したり、高利貸ししたりする地下銀行の仕事をするケースが多い。これらの地下経済活動は正式な統計の範囲外で行われているので、国内でも国外でも正しい経済活動の指標を把握できない。これが国際金融市場の秩序に悪影響を及ぼしている。

3.2 国際結婚カップルのビザ発給が厳しくなる

深刻な偽装結婚の問題に直面して、日本政府は2005年に不法入国や偽装結婚、結婚詐欺を防ぐために法律を改正した。結果として、外国人が日本に滞在するための在留資格の審査が厳しくなった。日本における国際結婚の年次別の変化を見るとそれが分かる。国際結婚は最盛期2006年の44,701件から、2010年の30,207件、2013年の21,488件と減少し、2015年には20,976件まで減っている^②。減少する原因として、結婚の意欲低下とか、偽装結婚の減少とかがある。厳しい法律で偽装結婚を防ぐことで、愛し合って国際結婚を望むカップルも偽装結婚のカップルと同じように煩雑な手続きを踏み、厳しい審査を受けなければならない。途中で諦めるケースもあるだろう。偽装結婚の問題は本当の国際結婚カップルに難題を課すことになると思う。

3.3 社会における婚姻関係に不安定さをもたらす

^① 偽装結婚について、<https://news.yahoo.co.jp/byline/sonodahisashi/20180803-00091735/>

^② 佐竹真明、金愛慶、国際結婚と多文化共生——多文化家族の支援にむけて、2017年、25頁

不正目的を持って、わがままに結婚届、離婚届を出すのは神聖な婚姻関係を無視し、結婚相手を軽んじる行為である。もし国際結婚における偽装結婚が続いていったら、社会における婚姻文化に不安定さをもたらす。それにより、数多くの方は離婚にしても結婚にしてもただ書類上のものに過ぎないという考え方で、浮気したり、家庭内暴力に走ったり、子育ての責任を担っていなかったりする人が増える可能性がある。婚姻関係は社会の安定につながる。偽装結婚を解決しないと、さらに複雑な国際社会問題が起こる。

偽装結婚による社会問題は上記の三つだけではなく、様々ある。個人の面から見れば、偽装結婚では結婚相手は信頼関係の全くない二人なので、結婚相手に金銭を詐取されたり暴行したりした場合も、法的な保護が難しい。人身安全に多大なリスクを及ぼす。したがって、もっと深刻な社会問題になる前に、偽装結婚の対処を考えないといけない。

4. 国際結婚における偽装結婚への対処

偽装結婚は実態把握が難しいので、その対処は簡単だと言えない。本稿では、政府と個人から偽装結婚の解決策を提言しようと思う。

4.1 政府

2005年に日本政府によって改正された偽装結婚に向く法律は厳しくなった。法律が偽装結婚問題に役に立つので、日本は続いて法律や日本入国管理法を完備している。外国人にとって、偽装結婚の主な目的は在留資格である。外国人のビザ目的にあつて、日本国会は「特定技能」という新しい在留資格を作り、外国人の受け入れを広げる。外国人の気持ちを思いやる一方で、外国人がルールに違反する場合罰を設ける。朝日新聞によると(2018年11月15日)、「偽装結婚など不正な手段で資格を得たり、

資格と別の活動をしたりしたら取り消される」^①。法律は厳しいが、所詮は人間の産物である。法律で偽装結婚を解決するとき、日本政府のように剛柔相済の考え方で扱うのは上策だと思う。

4.2 個人

法律が完備しているものの、偽装結婚のケースはまだ続いている。個人に自粛を促すことが重要である。偽装結婚に走る人々は主に遵法意識が薄いと思う。わずかな利益を狙うため、法律に違反することを厭わない。人々は自覚して法律を学び、正しい善悪感を培うべきである。強い遵法意識を胸に抱いていれば、他人に誘われても利益に誘われても自分を守ることができる。

5. おわりに

グローバルイシューとして、世界の国々が国際結婚における偽装結婚問題に直面しているが、さらなる深刻な社会問題が起きないように努力を重ねている。だが、偽装結婚を防ぐための制度には、国際結婚カップルにも連帯責任を負わせるかのように、厳しい審査が設けられている。それは国家間の交流にネガティブな影響をもたらす。偽装結婚を有効に防ぎながら、愛し合う国際カップルの愛をいかに守るかが、新しい課題になる。

参考文献及びサイト

- 1) 佐竹真明、金愛慶. 国際結婚と多文化共生——多文化家族の支援にむけて. 東京:明石書店, 2017年.
- 2) 浜野健. 日本人女性の国際結婚と海外移住——多文化社会オーストラリアの変容する日系コミュニティ. 東京:明石書店, 2014年.

^① 新しい在留資格、国会審議が始まったね、<http://database.asahi.com/library2/main/top.php>

3) 新しい在留資格、国会審議が始まったね.

<http://database.asahi.com/library2/main/top.php> (2019/10/1 閲覧)

4) 偽装結婚について. <https://news.yahoo.co.jp/byline/sonodahisashi/20180803-00091735/> (2019/10/1 閲覧)

5) 偽装結婚の疑いでスリランカ人男女ら逮捕 / 福島県.

<http://database.asahi.com/library2/main/top.php> (2019/10/1 閲覧)

6) 実用日本語表現辞典. <https://www.webl.io/content/偽装結婚> (2019/10/1 閲覧)

7) なぜ中国人との偽装結婚に手を染めたのか 困窮日本人夫婦が得たものとは….

<https://www.sankeibiz.jp/compliance/news/160207/cpb1602071702001-n4.htm>
(2019/10/1 閲覧)